

わだち

令和2年9月18日 第22号

体育大会 この思い出を大切に

みんなの募金渡小に届く

みなさんにご協力いただいた募金を被害の大きかった球磨村の渡小学校に届けました。渡小の校長先生から「寄せ書きにはジーンとくるものがあり、励まされました。募金も大切にに使わせていただきます。」との声が届いています。ご協力ありがとうございました。

今村 拝

天候のために順延となった今年度の体育大会ですが、無事に終わることができました。まず、子供たちに、そして、ご理解とご協力を賜りました保護者の皆様、PTA役員の皆様、そして、村の教育委員会、村民各位に心から御礼申し上げます。

さて、子供たちの姿はいかがだったでしょうか？新型コロナウイルス感染症の拡大防止というかつてない新しい学校の生活様式や熊本県のレベル4という事態を踏まえた体育大会。残念に思う気持ちは、子供たちはもちろん、私たち教職員も同じでした。だからこそ、紅白の勝ち負けにこだわらず、この村を元気にしたいという子供たちの気持ちが表れた体育大会でした。ですから、プログラムに産山音頭が入りました。子供たちと保護者、多くの村民が集い、一緒に踊る産山音頭。このうぶやまには、欠かすことのできないひとときでした。

また、PTAより各学級レクリエーションに充てるお金でそれぞれのステージ毎にスポーツタオルをご準備いただきました。このような状況だからこそ、子供たち、保護者、先生方、そして、地域の皆さんの思いが元気の源となりました。思い出に残る素晴らしい体育大会をありがとうございました。

村上 拝



ONE
TEAM